

職場における熱中症による死亡災害発生状況（平成 21 年）について

- 1 職場における熱中症による死亡者数は、近年 20 人前後で推移していたが、平成 21 年は8 人（前年比 9 人減）となり、大幅に減少した。

表 1 熱中症による死亡災害発生件数の推移（平成 12～21 年）

年(平成)	12 年	13 年	14 年	15 年	16 年	17 年	18 年	19 年	20 年	21 年	計
人	18	24	22	17	17	23	17	18	17	<u>8</u>	181

- 2 業種別にみると、建設業 5 人、製造業 1 人、運送業 1 人、警備業 1 人となり、建設業（前年比 4 人減）、製造業（前年比 4 人減）及びその他の業種（前年比 3 人減）において大きく減少した。

表 2 熱中症による死亡災害の業種別発生状況（平成 19～21 年）

業種	建設業	運送業	警備業	製造業	林業	その他	計(人)
平成 19 年	10	1	2	2		3	18
平成 20 年	9			5		3	17
平成 21 年	<u>5</u>	<u>1</u>	<u>1</u>	<u>1</u>			<u>8</u>
計(人)	24	2	3	8		6	43

- 3 作業開始からの日数別にみると、初日 4 人、2 日目 1 人、3 日目 1 人、6 日目 1 人、10 日目以降 1 人と、7 日以内に全体の 88% が発生しており、平成 20 年(71%)に引き続き大きな割合を占めた。

表 3 熱中症による死亡災害の作業開始からの日数別発生状況（平成 19～21 年）

作業日数	初日	2 日目	3 日目	4 日目	5 日目	6 日目	7 日目	8 日目	9 日目	10 日目 以降	計(人)
平成 19 年	3	5	3	2	1		1			3	18
平成 20 年	3	3	2	2	1	1		1		4	17
平成 21 年	<u>4</u>	<u>1</u>	<u>1</u>			<u>1</u>				<u>1</u>	<u>8</u>
計(人)	10	9	6	4	2	2	1	1		8	43

- 4 発生月別にみると、6 月 0 人（前年比 2 人減）、7 月 1 人（前年比 11 人減）、8 月 7 人（前年比 4 人増）となり、6 月及び 7 月において大幅に減少したが、8 月において大幅に増加した。

また、7 月又は 8 月に 100% が発生しており、平成 20 年（88%）に引き続き大きな割合を占めた。

表 4 熱中症による死亡災害の月別発生状況（平成 19～21 年）

月	6 月	7 月	8 月	9 月	計(人)
平成 19 年	2	3	11	2	18
平成 20 年	2	12	3		17
平成 21 年		<u>1</u>	<u>7</u>		<u>8</u>
計(人)	4	16	21	2	43

5 平成 21 年の熱中症による死亡災害発生状況

番号	月	業種	年代	発生状況の概要
1	7	建設業	30 歳代	被災者は、住宅新築工事現場での床の配筋作業に従事していたが、午後 4 時過ぎに倒れているところを発見され、その後死亡した。
2	8	建設業	40 歳代	被災者は、住宅増築工事現場での屋根の板張り作業に従事していたが、午後 2 時過ぎに体調不良を起こし、その後死亡した。
3	8	建設業	10 歳代	被災者は、倉庫の屋根塗装工事における足場の解体作業に従事していたが、午後 1 時過ぎに体調不良を起こし、その後死亡した。
4	8	製造業	40 歳代	被災者は、工場内におけるロボット溶接作業に従事していたが、午後 4 時過ぎにふらついているところを発見され、その後死亡した。
5	8	運送業	30 歳代	被災者は、個人宅への配達補助業務に従事していたが、午後 4 時過ぎに体調不良を起こし、その後死亡した。
6	8	建設業	30 歳代	被災者は、建物の新築工事現場における配筋作業に従事していたが、午後 0 時過ぎに倒れ、その後死亡した。
7	8	警備業	40 歳代	被災者は、汚水管埋設工事現場における交通誘導作業に従事していたが、午後 1 時過ぎにふらついているところを発見され、その後死亡した。
8	8	建設業	20 歳代	被災者は、住宅新築工事現場における足場組立作業に従事していたが、午後 4 時過ぎに体調不良を起こし、その後死亡した。

上記 8 人の死亡者のうち、

- (1) 7 人については、WBGT 値の測定を行っていなかった。
- (2) 全員について、計画的な熱への順化期間が設定されていなかった。
- (3) 全員について、自覚症状の有無にかかわらず定期的な水分・塩分の摂取を行っていなかった。
- (4) 4 人については、糖尿病等の熱中症の発症に影響を与えるおそれのある疾病を有していた。(疾病の影響の程度は不明)。
- (5) 2 人については、体調不良、食事の未摂取又は前日の飲酒があった。その他、2 人については、被災前日まで疾病にて休業していた。